

科目名	Webアプリケーション開発 2								年度	2025
英語科目名	Web Application Development 2								学期	後期
学科・学年	ネットワークセキュリティ科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習	
担当教員	戸谷	教員の実務経験		有	実務経験の職種		Webデザイナー			
【科目の目的】 「Web開発基礎」で学習したことをベースに、「Webアプリケーション開発1」と「Webアプリケーション2」の授業を通じて、Webシステムの開発を行います。「Webアプリケーション開発2」では、第9回から第15回までの授業を実施します。										
【科目の概要】 WebサーバとしてApache、データベースとしてはMySQLを使用し、サーバ側で動作するプログラムの作成方法を習得する。教科書を中心に基本文法から学び、簡単なWebアプリケーションを作成しながらクライアントとの連携方法や、データベースとの連携方法を理解していく。										
【到達目標】 PHPの基本文法から学び、HTML、JavaScriptとの連携と連携した処理が作れるようになること。クライアントから送信されてくる情報をサーバ上で処理・管理できる仕組みを理解すること。データベースとのやり取り方法を学び、送信されてきた情報の管理や必要な情報の取り出しなどができるようになること。セッション管理を理解し、複数のページで情報を共有できる仕組みを理解できるようにすること。										
【授業の注意点】 教科書、ノートパソコンを持参すること。基本的には教科書の順番で進めるため、公欠などで欠席した場合は、進んだ部分について確認しておくこと。また公欠をする場合は事前に公欠届を提出すること。全授業時間の4分の3以上の出席がない場合は、定期試験を受験することはできない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	サーバやプログラミングの環境を他者に教えることができる	資料を見ないでもサーバやプログラミングの環境を構築できる	サーバやプログラミングの環境を構築できる	サーバもしくはプログラミングの環境のどちらかだけ構築できる	サーバやプログラミングの環境を構築できない					
到達目標 B	PHPの特徴と用途を理解し、他者に教えることができる	PHPの特徴と用途を理解し、説明することができる	PHPの特徴と用途を理解している	PHPの特徴と用途を理解しようと努力している	PHPの特徴と用途を理解していない					
到達目標 C	画像も含め、さまざまな形式のデータを送信し、処理することができる	POSTとGETの違いを理解し、データを受け取り処理ができる	サーバ上にあるプログラムにデータを送信し、それを処理できる	サーバ上にあるプログラムにデータを送信することができる	サーバ上にあるプログラムにデータを送信することができない					
到達目標 D	SQL文の実行結果を受け取り、処理することができる	SQL文を適切な形に形に加工し、実行することができる	DBに接続し、SQL文を実行することができる	DBに接続することができる	DBに接続することができない					
【教科書】 PHP しっかり入門教室										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

